

国語科 全国学力・学習状況調査に向けて

H28. 3. 22



4月19日火曜日に、全国学力・学習状況調査が実施されます。それに向けての準備を計画的に行っていますか。

算数(数学)の指導は行っているよ。県学力調査の結果が、かなり悪かったから。でも、国語は、目標値よりもよかったので、ほとんど指導していない。時間的な余裕もないし・・・



NRTの成績もよい学級なので、特に何もしていないわ。年度末・年度始めは忙しくて・・・

全国学力・学習状況調査の問題は、問題形式(特にB問題)や量など、これまでのテストとは異なります。何も準備しなければ、児童生徒が実力を十分発揮することは難しいです。

調査の目的が、これまでの指導の反省にあるので、**長期的な取組(授業の改善)**が重要なのですが、**短期的な取組**を行うことにより、長期的に取り組んできた成果が正答率として表れます。



各学校で行って欲しい短期的な取組

- 過去の問題を児童生徒に解かせる。(制限時間内において)
- 福島県学力調査の結果を分析し、陥没点を把握する。
(各学校に、詳しいデータが送付されている。)
- 陥没点は、フォローアップシートや定着確認シートを活用し、追指導する。

しかし、こんな声が

子どもたちのために、自分なりに精一杯がんばっているんだけどな。その上、分析や指導を行うなんて、忙しくて、時間的な余裕がないよ・・・



担任や教科担当任せにしていますか。全国学力・学習状況調査は、これまでの指導の積み重ねが反映します。決して、6年生担任や国語科担当、数学科担当だけの問題ではありません。

重要なこと

分析や指導など、全教職員で、組織的に取り組む



春休みの課題や毎日の宿題として、フォローアップシートや定着確認シートを活用するのも効果的です。ただし、チェックを忘れず、定着していない問題に対しては、追指導を必ず行うことが大切です。

「学力向上」は、**児童生徒の夢の実現**のために、避けて通れないことです。その学力の一つの指標である全国学力・学習状況調査への準備等の指導を組織的、計画的に行うことは、学校にとって重要なことです。

さらに、児童生徒に対しては、「これまでの学習の成果を発揮する場として、全国学力・学習状況調査がある」ということを意識させ、真剣に全力で取り組むことができるよう、意欲面の指導を行うことも大切です。

教師も児童生徒も行うべきことをしっかり行い、4月19日実施の全国学力・学習状況調査に臨んでください。

